

狛江市男女共同参画推進フォーラム ～何が大切かは、自分で決める。～

実施報告

- ◇ 日 時 平成 26 年 11 月 29 日（土）午後 2 時から 4 時 10 分まで
（開場：午後 1 時 30 分）
- ◇ 会 場 狛江市防災センター 401・402・403 会議室
- ◇ 主 催 狛江市（政策室）
狛江市男女共同参画推進委員会
- ◇ 参加者 一般市民 42 名・推進委員 8 名・講師 2 名・事務局 3 名
計 55 名

- ◇ 趣 旨 狛江市男女共同参画推進計画を周知するとともに、「誰もが自分らしく生きる」ということをテーマに講演を行い、広く市民へ男女共同参画について考える機会とする。

- ◇ フォーラム内容
 - ① 狛江市男女共同参画推進計画の改訂について
改訂委員会による改訂骨子案の説明：企画財政部政策室職員
改訂委員会の進め方や主な意見等：
狛江市男女共同参画推進計画改訂委員会 奥村委員長
 - ② 講演「何が大切かは、自分で決める。」
ひとり出版社「小さい書房」 安永則子さん
（仕事と子育てや一人で起業した経験、自分らしく生きるということ、等）
- ◇ 当日の流れ
 - 13:30 開場
 - 14:00 開会
あいさつ 狛江市企画財政部政策室長
 - 14:05 狛江市男女共同参画推進計画の改訂について
質疑応答 ー質問なしー
 - 14:25 休憩
 - 14:35 講演
インタビュー・質疑応答
 - 16:05 あいさつ 狛江市男女共同参画推進委員会 西山委員長
 - 16:10 閉会

- ◇ 配布物 次第、狛江市男女共同参画推進計画骨子案（改訂委員会）、アンケート用紙、多摩 3 市男女共同参画推進共同研究会チラシ、講演者資料

- ◇ その他 手話通訳実施（手話通訳者2名）
保育実施（預かった児童4名、保育士3名）

◇ アンケート結果

回答者：31名

〔性別〕 女性：24名 男性：7名

〔年齢〕

20代	30代	40代	50代	60代	70代
1名	5名	11名	1名	5名	8名

〔職業〕 会社員：5名 自営業：7名 専業主婦・主夫：11名
無職：5名 その他：3名

〔住まい〕 狛江市内：21名 市外：7名 無回答：3名

〔どちらでお知りになりましたか（複数回答可）〕

1. 広報こまえ 5名
2. 狛江市HP 1名
3. 知り合いに誘われた 12名
4. ポスター 2名（自治会掲示板、公民館、市役所）
5. チラシ 15名
（小学校、防災センター、保育園、あいとぴあセンター、小田急OX）
6. その他 4名（「小さい書房」HP、FB）

〔フォーラムについてどのように感じましたか〕

満足：12名 おおむね満足：10名 普通：3名 無回答：6名

〔自由意見〕

<講演について>

- ・社会部で記者をさせていただきあって、広い視野と後の席まで気を配って話す、イスがあるのにずっと立って話される等、話もおもしろかったが、お人柄も好感が持てた。
- ・とてもいいお話だった。自分の若い頃をかえりみた場合、「勇気と決断力、自分で納得のできる仕事をする」という点、自分と比較し感慨深いものがあった。
- ・本を買う。
- ・同世代の人ががんばっている姿を見たり聞いたりすることで、勇気をいただいた。がんばっている姿を見せること、がんばっている人を増やしていくことが、社会をよくしていくと感じた。
- ・一人で何でもできることがうらやましく思った。生活を協力してくれる方々がいらっしゃるのか。
- ・実例を増やしていくことが変えていくことというのは、本当にそうだと思った。毎日モヤモヤと考えているがなかなか出口が見付からない。今日は少し元気が出てきた。
- ・とても参考になり、勇気が出た。

- 新聞記事を見て、話を聞いてみたいと思っていた。
- 安永さんの話がよかった。
- 一度きりの人生、安永さんのように、勇気をもって母として出版社の代表として前進され、かっこいいと思った。自分もこれから子育て、転職を考えているが、何が大切か自分で決めたいと強く思った。
- 話にメリハリがあり、参考になった。
- 安永さんの物語こそが一つの絵本になりそうな、とても刺激的で興味深いお話ありがとう。働くものさしにゆれる30代なので貴重なアドバイスをいただけた気持ち。大切なことは自分で決めていきたいと思いを強めることができた。
- 講演はとてもよい話だったが、男女共同参画推進フォーラムとは中身が違うように感じた。
- 自分の気持ちを第一に考えて自分の思うままに生きていくこと、とても強い女性なのかな。あるいは今はこのような女性が多くなってきているのかな。時間を上手に使い割り切って生きているし、夫が側にいてただ見守ってくれるだけでいいのか（お互いの立場を尊重しているということ）、社会がそれを受け入れてくれるようになったのかも。私たちの時代とは違ってきたと実感した。
- とても興味深く、聞いていて楽しかった。人柄も出ていてがんばっていらっしゃる話で、自分も日々の生活を大切にして仕事、子育てをしようと思った。
- とても個性的な講師のお話興味深く拝聴した。次の機会にはごく普通の共働きの女性の話をうかがいたい。
- わかりやすくざっくばらんで、好感が持てた。若い方は勇気をももらったと思う。
- 自分も大手企業を辞めて自営業で英会話を教え始め1年半。共感するところが多く、自分の決断も再度見つめ直す機会となった。「ひとり出版社」がんばってほしい！
- 安永さんの選択に拍手。お金でなく仕事の充実感を取ったことに乾杯。調布でママカフェをやっていて、ママ達が社会に出て行くことに疑問が出ていたが、今日来てよかった。
- 参考になった。これから仕事を続ける人も。リタイヤした自分にも。
- 保育（育児）と仕事の両立のところが聞けてよかった。
- とても興味深い話だった。

<計画改訂について>

- 計画改訂についての説明があるとは知らなかった。改めて資料を配布されて知った。全く知らない活動、計画だったので、知るために参加できたことは一市民としてよかったと思う。
- 狛江市の活動を説明してもらいよかった。
- 重点テーマの目標値が平成31年度でもまだ低いように感じた。話にあったように、介護等の問題もこれから出てくるので、市民にとってもより身近でオープンなイメージになるように願う。相談してもよいとのイメージ、一人で悩む方が一人でも救われればと思う。
- 初めて見た。現時点では未消化。
- 市民にPRして、市民が関心を持ち広く行きわたるようにしていただきたい。
- 平成27年度からの計画に期待する。
- 小さな自治体ならではの協力、支援を期待する。

＜事業全体について＞

- 学校関係だけでなくもっと一般的に広く宣伝したらよいと思った。広報があまり目立っていないと感じる。
- とてもいい事業だと思う。市民がもっと気軽に参加しやすいシステムを構築していただけたらいいと思う。
- フォーラムの企画はよかった。
- 市のこうしたフォーラムの開催に感謝する。

＜フォーラムの提案＞

- 育児や介護を支える人達の話やサービス内容について
- フォーラムの回数を増やす。
- 議論する機会をつくる。
- どんなゲストを迎えて、興味を持っていただけるかが重要。

